

第32回全国高等学校弓道選抜大会結果報告

12月21日(土)～23日(月)まで、大阪市中央体育館特設弓道場において、「第32回全国高等学校弓道選抜大会」が行われました。本校からは2年小野原が男子個人の部に出場しました。

◆12月20日(金)公式練習

20日は、本会場を使つての公式練習です。小野原は午後1時過ぎからです。結果は4射2中でした。本来なら監督として付き添い、射のチェックをするところですが、顧問宮原、吉田は18日から大会役員として活動しているため、ほとんど指導することが出来ていません。そのため、今回は小野原が自分自身で調整しなければなりません。公式練習のあと、練習会場となっている大阪城弓道場に行き、自分で調整をしました。

◆12月21日(土)開会式・個人予選

いよいよ本番です。本校の生徒会、運動部の生徒が中心となり大応援団を結成して駆けつけてくれました。おそろいの「13(じゅうそう)ウェア」に着替えて会場の一角を占拠したその光景は、会場の注目を一身に集めていました。

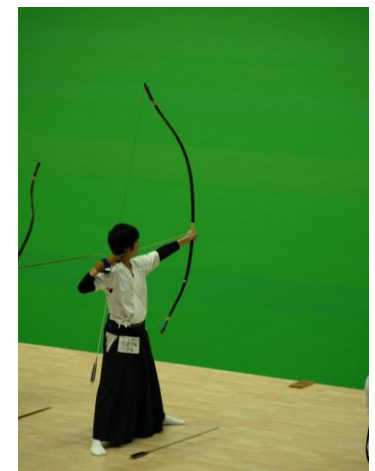
開会式前に、オープニングセレモニーとして、大阪府立芥川高校和太鼓部の演舞がありました。全国の各都道府県の代表を迎えるにふさわしい演舞で、その迫力に圧倒されました。また、開会式での挨拶も大変堂々とした素晴らしいものでした。うちの部員と同じ高校生だとはとても思えませんでした。うちの部員ももっとしっかりしてほしいものです。

開会式、矢渡しの後、いよいよ個人予選の開始です。男子個人予選は3時20分からで、小野原は76番目です。4射3中以上で予選通過となります。小野原は、緊張の1本目を見事的中。大応援団からの「よし！」の声(今大会一番の声でした)。しかし2本目ははずれ。3本目的枠にけられ、惜しくもはずれ。4本目もはずして、結局4射1中で予選落ちとなりました。

調子に乗るタイプなので、「予選さえ通れば・・・」と思っていましたが、ダメでした。11月の近畿選抜で準優勝し、自信を持ってこの大会に臨んだだけに小野原自身もショックが大きかったのではないのでしょうか。



全国選抜に出場するだけでもすごいことなのに、予選落ちという結果で終わってしまうと、今までのことがすべて吹っ飛んで、悔しさしか残りません。でも来年もある小野原にとってみたら、その方がよかったのかもしれない。実際、小野原は「悔しい。来年は絶対インターハイに行く！」と誓っていました。



今年の公式戦は、これで終了です。来年は、3月に全国私学大会が大阪で行われます。また、最大の目標はインターハイ出場です。それも団体での出場です。そのためには一部の部員が頑張っても意味がありません。部員全員が共通意識を持って、練習に取り組まなければなりません。6月のインターハイ予選に向けて、気持ちを一つにし、練習に取り組んで、じっくりと自分の射と向き合ってもらいたいと思います。

◆今回、生徒会、運動部が中心の大応援団が駆けつけてくれました。他校の応援は、弓道部員や保護者がほとんどで、他クラブの生徒が応援に来ている学校はほとんどありませんでした。他の大阪の先生からも「英真はすごいな。」「学校全体で応援してくれるなんてうらやましい。」「この大会一番の声だったな。」などと声を掛けて頂きました。他校では、こんなことはあり得ないそうです。顧問宮原、吉田は、改めては「我々弓道部は恵まれている。」ことを実感しました。



「英真学園の応援団はイチバンヤ〜！（阪神のオマリー風に）」

応援ありがとうございました。（弓道部一同）



『感謝の気持ちを忘れてはならない。感謝の心があつてはじめて、物を大切にする気持ちも、人に対する謙虚さも、生きる喜びも生まれてくる。』